

令和6年度実施(令和4-5年度事業実績分)指定管理者管理運営状況中間評価(検証)シート【ポートハウスターがさき】

①	評価項目	評価結果	評価内容
	指定管理者選定時に予定していた事業の達成状況	B	概ね良好である。
	施設管理全般	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
	維持管理について	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
	管理運営費及びサービスについて	B	概ね良好である。
	利用者の意見等への対応について	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
	人員配置、研修について	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。 ※ 安全を第一条件として、適切な人員配置を行うこと。
	安全対策について	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。 ※ 適切な水分補給や積極的な休憩をとる等の熱中症事故防止のための適切な措置を講ずること。
	個人情報の保護、情報公開について	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。 ※ 不要な書類はシュレッダー使用を徹底する等し、個人情報が記載されている書類は適切に管理すること。
	環境への配慮	A	適切・良好であり、高く評価できる部分がある。 ※ 自動販売機から出るゴミの分別と回収の徹底を図ること。
各委員からの総合的所見		・ 来場者数は、事業計画書に掲げた人数と令和4年、5年の事業報告にある人数を比較すると、かなりの隔たりがあり、これはコロナ禍も影響しているものと思われるが、計画書の作成・申請が令和3年9月中で、様々な制限や措置なども令和3年度末までとなっている状況を考えると、厳しい言い方をすると、見込みが甘いのか、指定管理者の集客力に問題があると思われる。 ・ 利活用事業について、令和5年度から提案・計画している事業や取組みは全て行っていかなければならないと思われるが、この点についても今年度の実施状況でやり遂げてもらいたい。今後2か年度の取組みの中で実施できていない事業を取り組んでいくことは、ヒアリングを通して理解できたが計画書に掲げた総入場者数の達成に向け取組みを進めてもらいたい。 ・ 全体として、適切・良好な執行が見受けられることから、総合敵所見としては適切・良好であると判断する。 ・ 報告書にはページをつけていただきたい。 ・ 未実施の計画は、その理由を記載していただきたい。 ・ 利用者を増やす努力(PR、ホームページ、SNS)や利用者意見への対応を記載していただきたい。 ・ 指定管理者募集時の募集水準に達しているかの判別ができないため、指定管理事業と自主事業が分かるように区別していただきたい。 ・ 安全管理が第一だが、利用者増に対してどのような体制で対応しているのか、考え方を記載していただきたい。 ・ 指定管理事業としてのプール開放は概ねよく行っているが、もう少しPRに力を入れていただきたい。 ・ 自主事業として行っている様々なイベントや教室は、物価高騰の中、年度計画の段階で取捨選択をしてよいと思われる。 ・ 安全管理に配慮して、今後も指定管理事業を実施していただきたい。 ・ 令和5年5月の5類感染症への移行までの期間については、コロナによる影響を受けてしまい、指定管理者として考える事業が実施できなかったと思われる。この点については、残りの指定管理期間の中で適切に実施していただきたい。 ・ 収支報告を確認する限り、令和4年度については収益を得られていなかったが令和5年度については、収益を得られていることが確認できる。事業を実施することで誘客が可能となり、収益も上昇すると考えられるので、残りの指定管理期間においては、施設の特性を活かした更なる誘客を目指し、運営をしていただきたい。	

各委員からの総合的所見

- ・ 適切な維持管理をしていると思われるが、事業については、安全管理と併せて、一層の努力をしていただきたい。
- ・ 施設管理全般については維持管理を全般的に丁寧に対応していることが伺える。管理運営費については値上げが続く現状から考えると概ね適正な金額になっていると考えられる。利用者の意見を取り入れたイベントの開催については積極的な対応が図られており、高齢者から若者、子供にも対応できている点は評価できる。一方で、夏季やダイビング・スノーリングなどは事故が生じる危険度が高いと考える。そのため、人員配置や研修については慎重に対応を進めていただきたい。特に、現在は発症件数の少ない熱中症があり、近年、夏季の気温の上昇が毎年著しいため、今後は熱中症の対策・予防、発症の場合の対応についてもさらなる検討が必要だと考える。
- ・ 個人情報保護の詳細な記載ないが、原則的に最低限の情報のみを収集し、期限を決めて確実な廃棄が必要です。
- ・ 環境への配慮は十分な対応が必要であり、自販機があると大量のごみが必ず発生する。そのごみをポイ捨てなどが生じないように確実に収集し、廃棄するための施策がより重要だと考える。
- ・ 施設管理全般については、このままの対応を続けていただきたい。また、町民にとって有効となる施策やイベントについては積極的な対応を検討していただきたい。一方で安全確保については常に最優先事項として対応していただきたい。
- ・ 天候に左右される事業であり、集客には天気次第の要素がある。また室外の環境下冬場の誘客が課題と思われる。
- ・ 各年度計画においては設備対応のメンテナンス関係は計画に沿って進められており問題ないが、収支計画において天気動向に左右されることを考慮におけば4年度、5年度の計画比はマイナスであるが了承したい。
- ・ 上記課題は集客利活事業の7事業の誘客増とプール周辺への誘客検討が必要である。(来場総人数と収入のミスマッチ克服を)
- ・ 手法として貸ロッカーの拡充と温水シャワー室を整備(例えばシャンプー、リンス等他)して年間通して多いジョギング者を対象にした「発着」の設備対応施設としての機能を有するPRを試みてはどうか。併せて、隣地の県営駐車場やコネクトへの誘客も可能となる。
- ・ プールエントランスのPRを考えれば、入口がわかりにくい。建物ペインティングによる誘客への対応も必要ではないか。
- ・ プール水を「売り」として塩水(海水)としては奇策か？冬場のツリ掘の費用対効果はどうか。
- ・ 大磯町への提案として新遊具(例えばウォーターすべり台等)の検討を要望したい。
- ・ 大磯港活性化への参加企業として、集客・誘客・県下指定観光町としての役割を担っていただきたい。
- ・ 限られたスペースで設備の制約もあるが、得意とする分野で力を発揮することができれば、利用者拡大につながると思う。
- ・ 適切な維持管理をしていると思われるが、事業について、安全管理を併せてなお一層の努力をしてほしい。
- ・ 大磯港の活性化への参加企業として、集客、誘客、県下指定観光町として協力を頂く役割を担ってほしい。JV共同体であり、今後も期待したい。限られたスペースの中での設備の制約もあり、得意とする分野で力を発揮することが利用者拡大につながると思われる。

評価区分

- A 適切・良好であり、高く評価できる部分がある。
- B 概ね良好である。(一部に適切・良好でない部分があったが、改善済みである。)
- C 一部に適切・良好でない部分がある。
- D 水準に未達の場合